

中京区地域福祉活動計画第四次プラン（案）パブリックコメント結果

番号	分類	内容	ご意見に対する考え方
1	推進活動に関すること	<p>推進活動3 災害について 災害避難場所はわかっていますが、障害のある方は、同じ避難場所に連れて行くのはと、ためらっておられる親子さんからの意見。 障害者の方はそれぞれ特質をお持ちです。声を上げたり、歩き回ったり（一例）とか、親子で避難施設とまでは言わないが、あればうれしいし、助かりますと。どうか取組の中でご検討いただければ嬉しく思います。</p>	<p>当事者団体や支援機関・団体とともに、障がいのある方に必要な災害時の助け合いについて話し合い、広く発信をし理解を進めていきます。 また、災害時に活かせるよう普段の要配慮者の把握や見守りについて、行政、高齢者や障がいのある方の支援機関・団体とともに検討していきます。</p>
2	推進活動に関すること	<p>京都には、どこの行政区でも身体障害者の団体がありますが、どこの行政区でも高齢化が進んでいます。そのため、その団体を支えていく人がなくなります。統計的に見ても中京区でも沢山おられます。ただ、個人情報の開示ができないため、区役所・市役所に言っても、その方の存在は言ってもらえません。 社会福祉協議会の方で各学区の会長様に連絡して、障害者団体がある事を知らせてもらえないでしょうか。入会しもらうのは個人の考えですが、障害者団体を知らない人が多いのではないのでしょうか。危機的な状況です。</p>	<p>本計画では世代、障がいの有無などに関係なく、ふれあい・つながり・ささえあうふくしのまちづくりを目指しています。 当事者団体や支援機関・団体、ボランティア・市民グループ、福祉施設と連携し、地域役員や地域住民を対象に研修や勉強会を行うことで、障がいの理解と障がいのある方との交流を進めていきます。</p>
3	推進活動に関すること	<p>中京老人福祉センターです。 つながりという面でもっとお役に立ちたいと思います。 外国語（英語、スペイン語、イタリア語）を使用できる職員がおりますので、お年寄り対応以外でも利用していただけます。 バス停等の交通の便が良いため、スペースを上手に活用していただけます。 等々、同じ社会福祉協議会として共に福祉活動を推進してゆきたく考えております。</p>	<p>推進活動6【つながり・取り組む】では、区内のあらゆる社会資源の活用と、困ったときにより役に立つネットワークを創ることを目指しています。 そのためにも区内の社会福祉施設の取組やマンパワーを把握することが大切と考え、福祉のまちづくり体制整備事業を推進する中京区地域福祉推進委員会で、そうした取組を推進していきます。</p>
4	行動計画に関すること	<p>「区社協の支援・取組」 黒丸三段目の文面について ●「当事者や支援機関・団体と連携し、<u>生きづらさを抱える当事者を理解し、認め合う機会をつくり出す</u>」となっていますが、◎当事者の言葉が重複していることと「取組」の文面にも同じ文章がある。同じ文が重なり諄（くど）く感じる。下線部の文章を削除する、機会の所を社会にはどうでしょうか。</p>	<p>推進活動1に対する区社協行動計画の3番目を、下記の通り修正したいと思います。 ●「支援機関・団体と連携し、<u>生きづらさを抱える当事者の理解や受容を進める啓発に取り組みます</u>」</p>